

G I R が新商品

「住宅完成エスクロー」で 施主の二重払いを回避

営が悪化し工事継続が困難になった場合、バックアップビルダーが工事を継承し、住宅を完成へと導き、施主の二重払いリスクを回避できるようにした。

不動産市場の低迷による建築・不動産業の倒産が相次ぎ、未完成住宅物件が増えていることに対応した。

住宅完成エスクローシステム「住まいるガード」は、施主の建築工事請負代金を、G I R 指定の信託口座に預託し、G I R が管理評価する工事の進捗度合いに応じて、ビルダーに支払うもの。これにより、ビルダーは資金回収・資金繰りが安定し、安心して施工できる。仮に、ビルダーの倒産など、不測の事態が発生しても、工事を継承し、完工できるようにした。

地盤保証及び調査事業を手掛けるG I R（東京都中央区、青木宏社長）は7月1日、住宅完成エスクローシステム「住まいるガード」を発売した。ビルダーの経